

## 新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等
温暖化	先進国の責任として現在の大量消費型ライフスタイルを超える、新たな環境配慮のライフスタイル・マインドの地域からの提案・実践
温暖化	重点課題としての温暖化に対する危機意識の醸成と徹底した対策
温暖化	地球温暖化における住宅の断熱化について寒冷地である本県において固有の政策検討(横浜市建物環境総合評価等)
温暖化	様々な啓発活動を行い、エネルギーの効率的な利用を心がけてもらえるようにする。
温暖化	電気のスイッチの近くに、どの発電所・どの地域から供給してもらっているか分かるラベルを貼付することで、節電意識の向上が期待できる。
温暖化	県内の市町村と首都圏内でのカーボンオフセットの促進
温暖化	小規模水力発電の促進のため水利権の規制緩和
温暖化	限界がある資源エネルギー社会から脱却し、効率の高い社会を築く。
温暖化	今回の地震と原発事故による電力不足と原油高による火力発電コストの増大が懸念される。水力発電所の再評価をおこない、可能な限りの発電時自給を目指す。
温暖化	高速交通網やダムなど従来の施策を資源エネルギー効率の視点から再検討
温暖化	複数のシンクタンクや学術機関に依頼し、本当に太陽光発電がエネルギーコストにかなっているかの計算を行い、結果如何で大々的な産業化を行う。
温暖化	まずは学校・図書館等の公共施設で一部消灯するなど県民に少しずつ節電意識を持たせ、将来的には一般住宅を含め、県全体が一丸となって節電できるようにする。
温暖化	今後も省エネ・節電を続けることで、節減した経費を県民から求められている部門(災害対策等)に充てる。
温暖化	自然エネルギーの積極的な利用、省エネルギーの推進により経済活動の活性化を図り、「環境県」として知名度を上げられればよい。
温暖化	自然エネルギーを使った発電を増やすなどして、自信を持って環境県と言える県であってほしい。
温暖化	長野県のことをあまり知らなくても自然が多いというイメージは強いと思うので、自然を生かして何かできれば、長野県を一番PRできるのではないかと。自然を生かした分野として、今最も必要とされているエネルギーの分野で成長することが一番必要
温暖化	他県に先駆けて化石燃料に頼らない発電政策を進めることで、環境問題に対して先進的な政策を掲げる県として全国にアピールできる。
温暖化	長野県で生まれた自然エネルギーに関する施策を全国に発信し、注目されるようになって欲しい。
温暖化	自然エネルギー大国として、長野県が国をリードする存在になれば良い。自然エネルギー信州ネットの取組等を通じ、日本中に誇れる成果を挙げられれば良い。
温暖化	自然エネルギーの利用拡大・省エネルギーの推奨等といった環境面からのイメージづくりは、結果的には経済的に意義のある取組
温暖化	化石燃料の代替物や自然エネルギーの開発等に積極的に協力して実験用地を提供し、公共施設における自然エネルギーの利用割合を増やすなど、自然豊かな長野県というイメージを印象づけることが必要
温暖化	精密機械工業で培った高度な技術はクリーンエネルギー産業分野でも活かせるため、県がこの分野で活躍できそうな企業を発掘して外部に発信することで、長野県＝クリーンエネルギー産業という認識が広まり、長野県の知名度が上がるのではないかと。
温暖化	日当たりの良い地形・高低差のある水路等、自然エネルギーを活用できる要素が多くあるため、地の利を活かした発電に取組む。
温暖化	豊富に存在する自然を生かした新エネルギーの導入は、日本に貢献する道。特に、太陽光・中小水力・地熱等による発電のポテンシャルが高い。現在、費用が高く、導入できる発電も多くないが、技術的な進歩や制度的な支援等により、新エネルギーを推進しなければならない。

## 新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等
温暖化	豊富な森林資源をエネルギー源として積極的に利用できれば、東日本大震災を機に見直されているエネルギー問題に寄与できる可能性を秘めている。それは、地球環境にも産業にも非常に有効
温暖化	長野県は再生可能エネルギーの普及に適した土地柄であり、長野県から新たな富(価値)を生み出すのは、再生可能エネルギーを中心としたエネルギー産業。県内に発電業者・売電業者・メンテナンス業者が誕生すれば雇用創出の機会となり、優秀な人材を県内に留める効果も期待できる。
温暖化	産学官の協働による次世代エネルギー、自然エネルギーの開発
温暖化	林野や畑を利用した資材、再生可能エネルギー生産を強化したい。
温暖化	自然エネルギーシステム、エコカーの導入により、環境にやさしい県づくりを進め、地球温暖化対策を進める。
温暖化	豊かな生活には、豊かな自然環境が必要。豊かな環境づくりのために自然との向き合い方を見直し、省エネルギーや新エネルギー利用を推進し、低炭素社会へシフトしなければならない。
温暖化	自然の広大さを活かした新たなエネルギー源について、真剣に考える必要がある。将来的に、県内の電力は全て自然エネルギーのみで賄えるようにするのが長野県のあるべき姿
温暖化	循環型社会の形成やエネルギーの地産地消により、住民が安心して暮らせるライフラインの確保が必要
温暖化	長野県の豊富な水資源を利用した電力の供給強化を図る。
温暖化	自然にやさしい水力発電をもっと多くやっていきたい。
温暖化	地熱発電所は最初の設備投資さえすれば、安いランニングコストで半永久的に電力を確保できる。
温暖化	無散水消雪のように、地下水資源、地中熱の循環利用と、地中熱、風力、水力などによるクリーンな発電形態を推進する。
森林	健全な森林。県有林、私有林の適切な間伐によって森林の多角的な価値を向上する。(水源、観光、材木、バイオマス他)
森林	長野県が世界のために役立てることは低炭素社会の構築であり、森林整備を行う必要がある。
森林	今後も地球温暖化対策・森林づくり・環境保全を推進し続けることで、未来につながる。
森林	自然(森林)を労わる「ココロ」を持ち、保護・保全していくことで環境問題に配慮していく。
森林	地滑りを未然に防ぐには、山林を適切に管理してしっかりとした森林を作ることが大事。林業の振興、間伐材等の利用など、県民等から幅広く意見を募り、森林・山林の保全に努めるとよい。
森林	計画的な間伐・水質調査など長期的な対策により、長野県の未来へ、森林を大切な遺産として残して欲しい。
森林	県土の8割を占める森林の管理が大切
森林	森林づくり県民税を500円から1,000円にするなどして、森林づくりを活発に行う。
森林	県外からも資金を調達する仕組みを検討し、森林税の用途を広げる必要がある。
森林	長野県は都会にない自然を沢山もっている。各地のマイナスイオンが都会と全く違うといった意味で、数字で表し、ホームページ・パンフレット等に掲載すればいい。
森林	森林セラピーの推進
森林	森林セラピーの普及
水・大気環境	健康で暮らすためには、大気や水をいつでもきれいに保つことが必要

## 新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等
水・大気環境	下水処理がどの家庭にもいきわたるなど、自然環境が更に良くなるような施策をしてもらいたい。
自然環境	県の各施策への、生物多様性条約第10回締結国会議で採択された新戦略目標「愛知ターゲット」の理念の取り込み
自然環境	環境保護業務の権限の強化
自然環境	素晴らしい自然・風土を守り、育て、環境に優しい長野を推進していければいい。
自然環境	自然の豊かさはそこに暮らす人々の心や身体の豊かさにつながると捉え、守っていくべき。
自然環境	豊かな自然環境と住民一人ひとりが光り輝くよう、自然環境を保護するとともに、安心・安全な生活環境を構築する。
自然環境	豊かな自然を前面に出し、環境保護に特化した県を望む。
自然環境	長野県は全国でも環境に対する取組や関心が高く、これから先もこれを維持し続けるべき。
自然環境	長野県の豊かな自然を財産という視点で扱い、自然と共生することを最重要目標として全県で取組むことにより、環境立県「長野」という地位を確立し、県内生産物のブランド化・旅行者や移住者の誘致につなげたい。
自然環境	県民に水質検査の結果や県の取組を分かりやすく伝える。ぱっと見て、県外の方にも自然環境保護に力を入れていることや長野の自然の良さが伝わりやすくなる。
自然環境	豊かな自然を存分に生かす。
自然環境	豊かな自然を大切にすると共に、自然を生かして活性化していきたい。
自然環境	健全に保たれた自然を保全するとともに、資源として活用する方策が必要
自然環境	長野県が恵まれた自然環境の中にあることを再認識し、そのイメージを世界に発信・定着させることが必要。長野県はその自然環境と共生して発展してきて、これからも発展していくことを示さなくてはならない。
自然環境	希少な動植物を保護するなど、自然を大切にし、更に、観光等の名物とすることで地方の活性化を目指す。
自然環境	自然と共生するために、植林等の活動をさらに行う。美しい川や湖を作り、そこに生息する魚を増やすことや、魚のつかみどりなど自然と振れ合うことを目的としたイベントを行う。
廃棄物	廃棄物処理施設の近くにリサイクル資源化工場を設置する。
廃棄物	県民によるリサイクル活動や、ゴミの減量等の意識をさらに徹底することが大切
廃棄物	県民一人一人に自分が排出するごみの行方を認識させる必要がある。ゴミ処理フローを配布する、ごみ箱へ最終処分場が明記されたラベルを貼付する等により、減量意識の向上につながる。
廃棄物	循環型社会に向けた取組は、私たちの世代で資源を使い果たすことがないよう、将来の世代のためにもやらなければならない。
環境保全活動	環境保全型の農業や小中学生を対象とした環境教育の推進などを通じて、地域の自然や伝統文化を大切にすることを意識、行動を高めたい。
環境保全活動	学校の児童・生徒を含めた地域全体で、環境保全活動・環境学習等を進める視点が必要
景観	便利さのみを追求して地域ごとの特色を均一化してしまうのはもったいない。今こそ、その街にしかない風景を大切にすべき。
景観	利便性を高めつつも、常に環境のことを考え、バランスの取れた開発をしなければならない。この美しい景観を県外・国外にアピールし、各地からたくさんの観光客が訪れる県にしたい。
農山村の多面的機能	貴重な資源エネルギーである地下水を涵養する休耕田の耕作や山中の水路維持

## 新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等
農山村の多面的機能	耕作放棄地、畜産農地を作物耕地に転用が可能であるかの研究
農山村の多面的機能	荒廃農地の利用促進のため安い地価などを背景に、長野県を農業や新ビジネスなどの「チャレンジ」を支援する場所にする。
農山村の多面的機能	担い手育成等の耕作放棄地を発生させないシステム作り
農山村の多面的機能	遊休農地を解消するために、地域に住む非農業従事者の力を活用する制度を整えてはどうか。耕作放棄地の地権者と市民農園利用希望者との間に行政が入り、抜根作業等を行った上で貸し出す。
農山村の多面的機能	農家を継ぐ人が減少することが考えられるが、使われなくなった農地を有効利用する。
農山村の多面的機能	遊休農地を行政で一旦借り上げ、使いたい人に有効に使ってもらえるように行政で貸し出す。
農山村の多面的機能	遊休農地を利用してバイオマス燃料となる穀物・菜の花等の大規模栽培を行い、観光の目玉としてはどうか。そのためには、農地に対する規制緩和など行政が支援できることもあるのではないかな。
農山村の多面的機能	遊休農地を活用してグリーンツーリズムを行った場合、観光客数や滞在日数の増加により、県内に多くのお金を落としてもらえるようになる。また、新たな雇用創出等が見込まれる。
農山村の多面的機能	耕作放棄の要因として耕地条件の悪さがあるが、せめて小型の耕運機が入れる程度の進入路を整備する必要がある。
農山村の多面的機能	「環境にやさしく人にもやさしい農業」というキャッチフレーズのもとに、農作業の効率化・省力化や、オリジナル農産物の品種開発等の取組を県が主体となって実施すべき。
農山村の多面的機能	県全体での有機農法の取組により、安全安心の信州ブランドを確立する。
農山村の多面的機能	野生鳥獣対策の新たな担い手を増やすべく広報を行ったり、費用負担の軽減を図るなど、県の積極的な取組が必要
農山村の多面的機能	鹿や猪など農作物に被害をもたらす害獣を、ジビエとして積極的に消費する。ジビエ肉を使った特産品やコンテストの開催等により、害獣というマイナスのものを、長野県の強みとしてプラスにすることができる。